

初公開日 1957/04/27

「国境の長いトンネルを抜けると雪国であった」日本画家の島村は、芸者の駒子と会うため雪深い温泉場を訪れた。島村は東京に妻子がおり、駒子は義母とその息子で病気を患っている行男を養っていた。二人ともそれが道ならぬ恋と知っていながら、一年に一回の逢瀬を重ねていた。島村が東京に戻る日、駅に見送りに来た駒子のもとに義妹の要子が駆けつけた。行男の容態が急変したというのだ。次の年、島村が温泉場にやってくると、すでに義母も行男も亡くなっていた。島村は駒子に「一緒に東京へ行こう」と言うのだったが…。

三好栄子 師匠

若宮忠三郎	駅長
水の也清美	女中・おとり
春江ふかみ	女中・おりん
市原悦子	芸者・勘平